

群馬の畜産 みんなの情報室

第 311 号

発行日 平成23年12月

(社)群馬県畜産協会 前橋市亀里町1310／電話027(220)2371／FAX027(220)2372／発行人 長岡 武
群馬県畜産協会ホームページ <http://www.chikusankyokai.or.jp/>

肉用牛肥育経営緊急支援事業(5万円の緊急支援金交付事業)

福島原発事故により汚染稲わらを給与された牛の肉から放射性セシウムが検出されたことにより、影響を受けられた肥育農家の皆さんに、当面の資金繰りを支援するため事業対象者が所有する事業対象牛に対して1頭当たり5万円を緊急支援金として交付しました。

なお、交付された緊急支援金は損害補償ではありませんので、事業対象牛を販売した場合や死亡・廃用した場合等に事業対象者は緊急支援金相当額を返還していただきます。

1 緊急支援金の交付

緊急支援金を下記のとおり交付いたしました。

区分	品種	単価	対象頭数	支援金額	対象戸数	交付日
第1回	肉専用種	50,000	12,895	644,750,000	171	9月28日
	交雑種	50,000	11,481	574,050,000		
	乳用種	50,000	3,224	161,200,000		
	計		27,600	1,380,000,000		
第2回	肉専用種	50,000	1,626	81,300,000	105	11月8日
	交雑種	50,000	3,450	172,500,000		
	乳用種	50,000	2,800	140,000,000		
	計		7,876	393,800,000		
第3回	肉専用種	50,000	1,079	53,950,000	31	11月15日
	交雑種	50,000	2,041	102,050,000		
	乳用種	50,000	334	16,700,000		
	計		3,454	172,700,000		
合計	肉専用種	50,000	15,600	780,000,000	191	
	交雑種	50,000	16,972	848,600,000		
	乳用種	50,000	6,358	317,900,000		
	計		38,930	1,946,500,000		

2 返還手続き

返還については、事業対象牛の販売等のあった四半期の翌々月の末までに返還請求を行いますので、請求翌月末までに返還してください。

なお、初回返還の事務手続きは、本事業の説明会が1月中旬に予定されており、それ以降となります。

目 次

- | | | | |
|---------------------------|---|--------------------------------|---|
| ●肉用牛肥育経営安定緊急支援事業 | 1 | ●肉用牛肥育経営安定特別対策事業 | 6 |
| ●第15回群馬県畜産共進会(和牛の部) | 2 | ●養豚経営安定対策事業 | 6 |
| ●第15回群馬県畜産共進会(乳牛の部) | 3 | ●第22回群馬県酪農畜産フェスティバル | 7 |
| ●赤城南面養豚生産者の集い | 4 | ●放射性物質検査を理解してぐんまの牛肉を食べよう | 7 |
| ●第15回はちみつ品質向上共励会 | 5 | ●飼養衛生管理基準の改正について | 8 |

和牛名誉賞に安原さん・新井さん・成沢さん、乳牛名誉賞に三輪さん・萩原牧場

前橋市の群馬県畜産試験場において、平成23年10月29日に第15回群馬県畜産共進会繁殖和牛の部、30日に乳牛の部が開催されました。昨年は宮崎県で発生した口蹄疫の影響により中止となったため2年ぶりの開催となり、出品者も久々の共進会に非常にはりきっている様子が見られました。繁殖和牛の部では未經産28頭、経産36頭、群出品8組の計64頭8組が出品され、名誉賞は第8部繁殖雌牛群の長野原町が受賞しました。乳牛の部では未經産49頭、経産38頭の計87頭が出品され、名誉賞は未經産の部ではみどり市の三輪圭吾さん、経産の部では長野原町の(有)萩原牧場が受賞しました。なお結果は以下の通りです（各部優等賞1席のみ記載）。

繁殖和牛の部

部	受賞者	名号	父牛
第1部	熊川宗次（婦恋村）	かつはなひら	勝忠平
第2部	青木庄一（東吾妻町）	いわびつ 2402	安福久
第3部	西山 徹（東吾妻町）	おりだ 3066	平茂晴
第4部	安原稔夫（長野原町）	のだめ	第1 花国
第5部	黒岩敏茂（婦恋村）	かつまさ	平茂勝
第6部	高橋俊一（みなかみ町）	たかしげかつ	平茂勝
第7部	八木原茂（前橋市）	つばき かみおき 1009	福之国 百合茂
第8部	安原稔夫（長野原町） 新井浩司（長野原町） 成沢 進（長野原町）	のだめ おおやはら 48 あさみ	第1 花国 百合茂 平茂勝



第8部繁殖雌牛群で名誉賞を受賞した長野原町地域の受賞牛

乳牛の部

部	受賞者	名号
第 1 部	三輪圭吾 (みどり市)	ハーバート チャンピオン クルミナ
第 2 部	砥上雅道 (前橋市)	アッシュクリーク キンハボック アンチェス ジュリア
第 3 部	三輪圭吾 (みどり市)	MMS ジェット ターハム
第 4 部	中之条高校 (中之条町)	ナカコー プライト アドベント ミリヤ RED
第 5 部	三輪圭吾 (みどり市)	リスペクト ローゼッタ ローディー
第 6 部	小金澤忠彦 (長野原町)	グリーンエアリス プロント リーダー
第 7 部	三輪圭吾 (みどり市)	ハーバート PRO モデル
第 8 部	(有)萩原牧場 (長野原町)	ブルーエンゼル TDF シェキラ
第 9 部	(有)萩原牧場 (長野原町)	ボビージョイ トランブル ジェスロ



第 9 部経産 5 才以上の部で名誉賞を受賞した(有)萩原牧場出品の
ボビージョイ トランブル ジェスロ



「赤城南面養豚生産者の集い」を開催しました

豚オーエスキー病(AD)の清浄化に向けた取り組みは、平成3年から清浄化を目的にしたワクチン接種が開始され、すでに20年が経過しております。その間、養豚生産者や関係機関等との連携および協力の下、県防疫対策要領等に基づき、ADの清浄化対策に取り組んできました。

本年10月、養豚密集地域内の農家から、「地域外のAD情報が非常に少ない状況を解消すべきである。」との意見が出されました。そこで、養豚密集地帯である赤城南面(旧勢多郡富士見村、大胡町、粕川村、宮城村及び新里村)の養豚農家および管理獣医師や関係者が行政区域を越えて一堂に会し、ADに関する情報を交換し問題意識を全員で共有しADの早期清浄化を図るため、「赤城南面養豚生産者の集い」を平成23年10月31日、桐生市新里総合センターで開催することとしました。

日頃、豚の管理で忙しい生産者が開会時間の午後6時にどのくらい参集できるか心配したのですが、今後の養豚経営を考えるには、AD清浄化が不可欠との共通認識から、概ね予定時間に開会することができました。

中部および東部家畜保健衛生所の担当職員から、「地域のAD清浄化の進捗状況」について説明していただき、その後フリートーキングで意見交換が行われ

- ① もう一步の段階なので、全ての農場で全頭接種をするよう指導強化
- ② 隣接する他地域のADの清浄化への取り組みについての情報交換ができたことで地域一帯となって取り組んでいく意欲が高められた
- ③ 自己判断によりワクチン接種を中止している農家への指導強化
- ④ 肥育豚はAD検査をしているが、繁殖豚は未実施の農家に対する対応
- ⑤ 自衛防疫団体が主体となって地域の取り組みを推進すべき
- ⑥ 家保の指導がゆるいのでは
- ⑦ 群馬は全国的にも清浄化が取り残されている

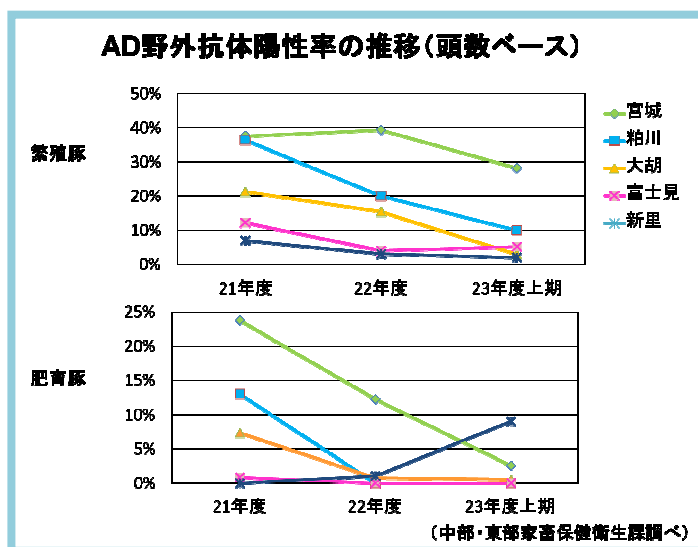
等、ある程度評価している意見と、もっと強制力をもった指導をすべき、など多くの意見がだされました。

なお、出席者は、養豚農家25名、管理獣医師4名、自衛防疫担当者、関係者等20名でした。

AD病対策協議会の事務局である本会としては、この「集い」を、今後とも継続することとしております。

『めざせ清浄化、決め手は最後のワクチン接種』

以前、家畜畜産物衛生指導協会が募集して作成した、キャッチフレーズを思い出しました。



第 15 回はちみつ品質向上共励会が開催されました

この共励会は、群馬県養蜂協会会員(H 2 3 現在 1 7 6 名)が生産したはちみつを審査し、はちみつの資質の改善と生産技術向上を目的に毎年開催されております。

2 3 年度は、1 0 月 2 6 日(水)に県庁県民広場を会場にして、群馬県と日本養蜂はちみつ協会の後援を得、審査員には、群馬県畜産課・畜産試験場・農業技術センターの協力の元に開催いたしました。

「出品区分・基準」

- ・出品物は群馬県産であること。
- ・部門は、「アカシアの部」と「百花の部」とする。
- ・はちみつは、1. 2 k g 瓶詰めで 1 点、2 本とする。

「出品点数」

- ・アカシアの部 4 4 点 8 8 本
- ・百花の部 5 1 点 1 0 2 本

「入賞者」

・アカシアの部

最優秀賞・知事賞

福田 寛治(東毛支部)

優秀賞・群馬県畜産協会会長賞

五位野 浩(多野藤岡支部)

優秀賞・日蜂協会会長賞

福島 紀男(北群馬渋川支部)

・百花の部

最優秀賞・知事賞(エゴ)

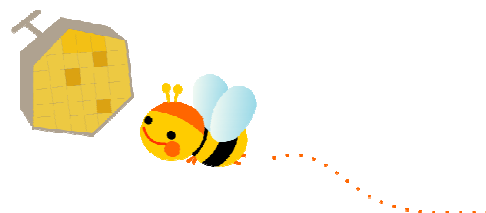
大畠 元夫(勢多前橋支部)

優秀賞・群馬県畜産協会会長賞(リンゴ)

小野 幸広(利根沼田支部)

優秀賞・日蜂協会会長賞(レンゲ)

小野 幸広(利根沼田支部)



百花の部入賞はちみつ



審査風景

審査終了後、出品されたはちみつを市価の半値位で即売し、短時間で完売しました。



肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン）

福島原発で悪影響を受けた問題で、マルキン事業における緊急の対応策として、第 1 四半期の肥育牛補填金の繰り上げ交付の実施。

また、7・8・9 月販売分の肥育牛補填金の毎月交付の実施。さらに 10・11・12 月販売分についても補填金を月毎に交付することになりました。平成 23 年度の補填金交付状況は下記のとおりです。

補填金交付一覧表

対象期間	単価公表日	品種区分	交付単価 (円)	交付対象 頭数(頭)	交付金額(円)	交付対象契約 者数(戸)	交付(予定)日	通知(予定)日
平成 2 3 年 4 ～ 6 月	平成 23 年 8 月 5 日	肉専用種	33, 200	2, 457	81, 572, 400	136	8 月 12 日	8 月 8 日
		交雑種	51, 300	3, 369	172, 829, 700	154		
		乳用種	49, 600	1, 532	75, 987, 200	19		
		(計)		7, 358	330, 389, 300	309		
平成 2 3 年 7 月	平成 23 年 8 月 31 日	肉専用種	74, 200	571	42, 368, 200	87	9 月 16 日	9 月 13 日
		交雑種	99, 400	732	72, 760, 800	100		
		乳用種	59, 300	313	18, 560, 900	19		
		(計)		1, 616	133, 689, 900	206		
平成 2 3 年 8 月	平成 23 年 10 月 14 日	肉専用種	83, 800	833	69, 805, 400	116	10 月 21 日	10 月 14 日
		交雑種	89, 000	921	81, 969, 000	134		
		乳用種	57, 500	66	3, 795, 000	14		
		(計)		1, 820	155, 569, 400	264		
平成 2 3 年 9 月	平成 23 年 11 月 10 日	肉専用種	73, 300	785	57, 540, 500	92	11 月 22 日	11 月 16 日
		交雑種	108, 100	1, 071	115, 775, 100	120		
		乳用種	73, 900	294	21, 726, 600	18		
		(計)		2, 150	195, 042, 200	230		
平成 2 3 年 1 0 月	平成 23 年 12 月 15 日	肉専用種	84, 800	807	68, 433, 600	102	12 月 21 日	12 月 15 日
		交雑種	153, 600	1, 001	153, 753, 600	125		
		乳用種	91, 000	345	31, 395, 000	19		
		(計)		2, 153	253, 582, 200	246		
総 計		肉専用種	(対象) 交付	(5, 453) 5, 453	319, 720, 100	(533) 157		
		交雑種	(対象) 交付	(7, 094) 7, 094	597, 088, 200	(633) 175		
		乳用種	(対象) 交付	(2, 550) 2, 550	151, 464, 700	(89) 24		
		(合計)	(対象) 交付	(15, 097) 15, 097	1, 068, 273, 000	(延) (1, 255) (実) 267		

養豚経営安定対策事業（全国肉豚）

【事業の実績（平成 23 年 11 月現在）】

	第 1 四半期	第 2 四半期
枝肉全国平均価格（円/kg）	487	478
補てん金単価（円/頭）	—	—
補てん対象肉豚頭数（頭）	—	—
補てん金交付額（円）	—	—
補てん金交付（予定）日	交付なし	交付なし

養豚経営の安定を図るため、豚枝肉平均価格が生産コストに相当する保証基準価格（460 円/kg）を下回った場合に、生産者の抛出と国の助成により造成された基金から、差額の 8 割を補てん金として交付します。第 2 四半期分も保証基準価格を上回ったため、次回補てん金交付時に第 1 四半期・第 2 四半期出荷肉豚分も交付対象として支払われることとなります。

第22回 群馬県酪農畜産フェスティバルが開催されました

10月29日（土）～30日（日）の2日間、県畜産試験場・馬事公苑において第22回群馬県酪農畜産フェスティバル（主催：群馬県酪農畜産フェスティバル推進協議会）が開催されました。会場では、《生産者と消費者のつどい》をテーマに、新鮮でおいしく、安全なぐんま産畜産物をアピールしました。今年は特に、東日本大震災や福島第1原発の問題で大変な年となっていますが、会場には、昨年を上回る多くの消費者が来場し賑わいました。

本会で事務局を担当する、群馬県養豚協会、群馬県養鶏協会、群馬県養蜂協会、群馬県馬事畜産振興協議会が、県産畜産物の無料配布・試食販売などの催しを実施し、長蛇の列になるほどの注目を集めました。

また、昨年は口蹄疫の影響で中止となった「乳牛・和牛共進会」が、会場の一画で同時開催されました。



養鶏協会担当のたまご試食販売賑わう会場



養豚協会担当の豚肉試食会



馬事畜産振興協議会担当の畜産物無料配布

「放射性物質検査を理解してぐんまの牛肉を食べよう！」セミナー

今年7月に稲わら及び牛肉から規制値を超える放射性物質が検出されたことにより牛肉の消費が低迷し、県内の肉牛業界にも多大なる影響を及ぼしました。

このことを受け、本会では消費者の皆様へ牛肉の安全性と牛肉の良さをPRするため、10月15日（土）にJAビルで行われた収穫感謝祭において、牛肉を食べて応援しようキャンペーンとして「放射性物質を理解してぐんまの牛肉を食べよう！」セミナーを開催しました。

セミナーでは、県畜産課 木暮補佐より「県産牛肉の放射性物質検査の状況」、県民健康科学大学 河原田教授より「放射能汚染について知っておきたいこと」、群馬調理師専門学校 小野教務部長より「簡単にできるおいしい牛肉の食べ方」についてそれぞれ講演していただき、講演後には県産牛肉 150g を参加者に配布し、牛肉の消費拡大と一般家庭での牛肉消費を呼びかけました。

当日はおよそ150名の消費者が集まり、講演会後に行ったアンケートでは「放射能に関する正しい知識を得ることができ理解が広がった」「レシピを参考に自分でも牛肉料理を作って県産牛肉の消費拡大に貢献しようという気持ちになった」との声が聞かれ、7割以上の方に群馬県の牛肉の安全性について理解してもらうことができました。



第22回酪農畜産フェスティバル及び放射性物質検査を理解してぐんまの牛肉を食べよう！セミナーにおいて東北地方太平洋沖地震の募金をお願いしましたところ、皆様より寄せられました募金総額は10,027円となりました。

この募金はJA群馬中央会「東北地方太平洋沖地震募金」を通じて影響を受けた方々の支援に役立てていただきます。募金にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。

飼養衛生管理基準の改正について

昨年の宮崎県における口蹄疫の発生や、全国的な高病原性鳥インフルエンザの発生状況を踏まえ、家畜伝染病発生の予防、異状発生時の早期の発見・通報、迅速な初動対応に重点を置いた家畜防疫体制の強化のため、家畜伝染病予防法の一部が改正され新たな飼養衛生管理基準が平成23年10月1日より施行されました。

大切な家畜を伝染病から守るために、飼養衛生管理基準の遵守にご協力をお願いいたします。

1 対象家畜の拡充

これまでの牛・豚・鶏の3畜種に加え、水牛・鹿・緬山羊・いのしし・あひる・うずら・きじ・だちょう・ほろほろ鳥・七面鳥・馬が対象となりました。

2 衛生管理区域の設定と病原体の持ち込み防止

畜舎やその周辺の飼料タンク、飼料倉庫などを含む区域を衛生管理区域とし、入り口に看板等を設置する

3 異状が確認された場合の早期通報、出荷・移動の停止

4 埋却地の準備（馬を除く）

5 入場者等の記録の作成と1年間以上の保存

衛生管理区域に入った者の情報（氏名・要件・日時など）

飼養家畜の情報（異状の有無など）及び導入家畜の情報（導入元・頭数・健康状態など）

6 家畜の飼養に係る衛生管理の状況に関する定期報告

家畜の所有者は、毎年、家畜の飼養状況や衛生管理状況等を都道府県知事に報告することが必要です。平成24年以降は牛・水牛・鹿・緬山羊・豚・いのしし及び馬の所有者は毎年4月15日までに報告してください。

7 一定の症状を示す家畜を発見した場合の届出

口蹄疫や鳥インフルエンザを疑うような一定の症状を呈している家畜を発見した場合、家畜保健所へ届出をして下さい。

〈南関東4競馬場開催日程〉

(2012年1月～2012年2月)

1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
開催場	川崎	川崎	川崎	川崎		川崎	川崎			浦和	浦和	浦和	浦和			大井	大井	大井	大井	大井				川崎	川崎	川崎	川崎	川崎		浦和	浦和
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			
開催場	浦和	浦和	浦和			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井														

〈地方競馬全国協会からのご案内〉

『地方競馬の馬主になりたい!』という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、[地方競馬情報サイト\(http://www.keiba.go.jp/\)](http://www.keiba.go.jp/)でもご覧になれます。

(担当: 審査部登録課 電話 03-3583-2142)

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

ー編集後記ー

年末を迎えても、慌ただしい日々が続いていますが、今年一年を象徴する漢字が先日発表となりました。『絆』という字です。3月11日の東北大震災が、今まで経験をしたことのない多くの被害を引き起こし、家族やその仲間との結びつきの大切さや、その災害の復興に当たっては、様々な人たちの協力やボランティア活動が大きな役割を果たしたことから、この漢字が選抜されたとのことでした。

国内外の情勢から、今後の畜産情勢の不透明感は続くのではと危惧しているところですが、

「躍動するうさぎ」から「天高く昇る竜」の新しい年となります。

明るい明日は、そこまで来ていると思いたいものです。(H,M)

